

# 汐風通信

Number 21  
2004

関西福祉大学 コミュニティ情報誌

平成15年度就職状況報告

ひとことコラム  
福祉領域の市場化 —その意味するもの—

平成16年度汐桜祭開催!!





第7回 汐桜祭

## CONTENTS

汐桜祭	1 p
ひとことコラム	2 p
卒業式	3 p
入学式	
新任教員紹介	4 p
学年暦	
赤穂市インターンシップ	5 p
学生紹介 「うちの学生こんな学生!?」	
第2回しおかぜコンサート	6 p
姫友戦	7 p
学友会新役員紹介	8 p
児童福祉コース(保育士養成課程)設置	
平成15年度就職状況報告	9 p
平成15年度国家試験結果報告	
平成17年度入試概要	10 p
関西福祉大学ひとくちメモ	
編集後記	

## ひとことコラム

### 福祉領域の市場化

—その意味するもの—

従来、福祉領域は、市場メカニズムでは解決できない領域として、政府部門の所管事項として位置づけられてきました。そしてその政府の経済活動は、家計の消費活動と企業の生産活動に支えられて初めて可能なものです。ある推測では、2007年をピークとする日本の人口は2100年には半減し、約6,700万人になると予想されています。まさに少子高齢社会の到来で、生産年齢人口は激減します。このまま推移すれば、家計の消費活動と企業の生産活動は縮小を余儀なくされ、それらの上に君臨する政府の経済活動も縮小することは必至です。

<大きな政府>から<小さな政府>への転換。1980年代から叫び続けられている「民営化」、2000年に始まった介護保険制度、そして今年の年金制度の改革、福祉の重点を施設から地域へシフトさせようとする政府の方針等々、これらはすべてこの時代の大きな流れに沿ったものです。やがて福祉は政府部门から市場へと可能な限り移行していくものと思われます。

ではその福祉領域の市場化は具体的に何を意味をするのでしょうか。福祉の現場で活躍されている皆さんに何が要求されるのでしょうか。まず福祉サービスの生産者としての役割です。消費者の多様なしかも将来的なニーズを把握し、品質と価格の両面でそのニーズを満たすサービスを開発・生産していかなければなりません。その失敗は市場からの退場、つまり事業の閉鎖を意味します。また新たな事業を展開するのに必要な資源も自己開発することが求められます。政府の補助金など当然にできません。今ある資源の再見直し・再活用が日々現場で求められることでしょう。それはある意味で労働強化を意味するかも知れませんし、また効率的な生産方法の開発を意味するかも知れません。福祉に従事する人々にこれから要求されるものは援助技術だけはありません。限られた資源をどう配分し、何をどれだけいかにして誰のために福祉サービスを生産するかというすぐれた経済的な思考が求められることでしょう。

そんなことは経営者が考えてくれると思っていませんか。確かに福祉をこれから市場化しようと考えている企業には経営者はいますが、市場化される現在の福祉施設・機関はどうでしょうか。新たに経営の専門家を配置するといった資源の追加を期待したいところですが、期待薄。その時に求められるのが、現存資源の再活用、つまり皆さん一人一人の能力の再開発—経済学的思考を身につけた福祉サービスの生産者—だと思います。今からその準備に取りかかって下さい。



みそばた  
たけし  
教授

**自由汐 (じゅりょうしお)**

—テーマ—

汐 桜 祭

赤穂の市内に春の風が漂い、桜がほころびはじめた頃、第8期生の新入生を迎えて、学生主催の新入生歓迎フェスティバルが開催されました。今年も実行委員会が組織され、年が明けると同時に活動を開始し、趣向を凝らした様々な企画で新入生達を歓迎しました。

今年の汐桜祭テーマには新入生の新鮮な気持ちと真っ白な自由帳とを結びつけ、新入生一人のそれぞれの色で学生生活を描いてもらいたいという想いが込められています。

参加した新入生には、「下宿福汐查」気になる!! 関福生の実態」「赤穂マップ」「これをみてもっと赤穂を知っちゃえ!」等を掲載した手作りのパンフレットが配布されました。

当日、円形広場のメインステージにはサークル紹介やゼミ対抗ゲームといったブログラムが、次々に登場。会場は参加した学生たちの歓声に包まれました。

*~からから! からから! 君のcolorにそめてくれ! ~*

# 卒業式挙行

平成15年度

平成16年3月25日（木）、赤穂市文化会館（ハーモニーホール）において平成15年度卒業式が挙行され、4期生231名が本学から卒業しました。式典では、豆田赤穂市長をはじめ、皆様からのご祝辞の後、卒業生代表として、森尾唯公子さん（兵庫県／加古川西高等学校出身）が謝辞を述べました。また、成績最優秀賞として森尾唯公子さん、成績優秀賞として伊賀由佳さん（兵庫県／賢明女子学院高等学校出身）、諸家紗織さん（鳥取県／鳥取西高等学校出身）が表彰され、高等学校一種免許状「福祉」取得者23名を代表して中下宏美さん（山口県／柳井高等学校出身）が免許状を受領しました。

式典後、各ゼミ担当教員より、卒業生一人一人に学位記が手渡されると、感動を抑えきれず、涙を流す学生も少なくありませんでした。

卒業生の皆さんが4年間の思い出とともに、本学卒業生としての自信と誇りを持ち、これからも後輩達のよき目標となるよう、今後の活躍を期待します。

平成16年度

## 入学式が挙行されました

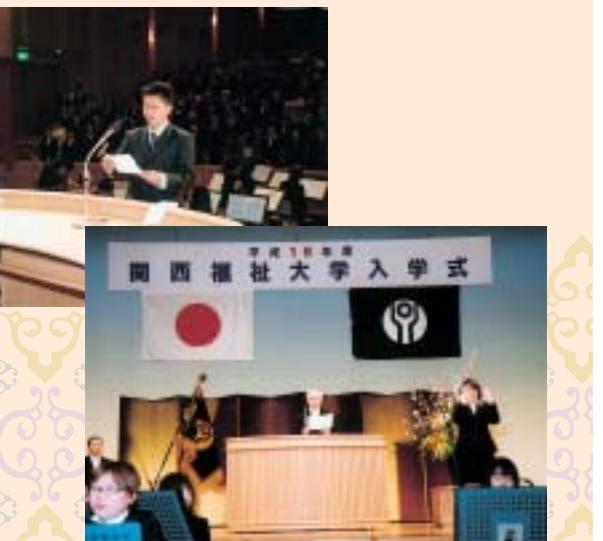
麗かな春の日差しの中、4月5日（月）平成16年度関西福祉大学入学式が、赤穂市文化会館（ハーモニーホール）で挙行されました。

期待と、希望に胸を膨らませた287名の新入生が、和田学長により入学を許可されました。

式典では、学長式辞に続いて、新入生の宣誓を代表の亀井陽介さん（兵庫県／赤穂高等学校出身）が務め、大学生活への希望と決意を述べました。また、赤穂市長をはじめ、ご来賓の方々からは、新入生への温かいお祝いのメッセージが送られました。

式典後は、会場外で待ちわびた先輩達が、初々しい新入生達に歓迎のエールを送りました。

新入生の皆さんが、この素晴らしい赤穂の地で福祉を学び、有意義な学生生活を送ることを願ってやみません。



## 学年暦

プロフィール：京都府立大学大学院福祉社会学研究科修士課程修了。宇都宮短期大学人間福祉学科助教授を経て現職。



講師  
井上 深幸  
(いのうえ みゆき)

主な著書：『事例で学ぶ社会福祉援助技術』（共著）『痴呆高齢者ケア計画事例集』（共著）『介護保障の課題と展望』（共著）

担当科目：ケアマネジメント論、社会福祉援助技術演習、社会福祉援助技術現場実習指導

プロフィール：兵庫教育大学大学院学校教育科幼稚教育専攻修了。兵庫大学短期大学部、園田学園女子短期大学等の兼任講師を経て現職。



講師  
日坂 歩都恵  
(ひさか ほづえ)

主な著書：『保育の原理と実践』（編著）『子どもの健康学』（共著）『保育の実践』（共著）

担当科目：乳児保育、保育実習、総合演習（保育）

プロフィール：上越教育大学学校教育学部卒業。広島大学教育学研究科博士課程後期中退。中九州短期大学、高松短期大学を経て現職。



講師  
坪井 貴子  
(つぼい たかこ)

主な著書：『保育原理』（共著）、『幼児期の尊さと教育』（共著）

担当科目：乳児保育、保育実習、総合演習（保育）

**ひとこと：**関西福祉大学に赴任し、3ヶ月が経ちました。広々とした穏やかな環境の中で、教育、研究ができるこを嬉しく思っています。

社会福祉士の国家資格を取得し、病院の相談室に勤務していました。

実践の場は、人との出会いです。社会福祉援助の方法論は、人とのかかわりをぬきにして語れません。ますます複雑になる制度やサービスの狭間に市民が落ちることのないようサポートする重要な領域であることを、実践での経験や感動をも交えて伝えていければと思っています。

**ひとこと：**この4月から関西福祉大学に勤めることになりました。桜で有名な日岡山のある加古川から赤穂へ通っています。どうぞよろしくお願ひします。

学生時代は保育学（専門は子ども健康学）を学び、「子どもの身心の発育・発達のひずみについて」を研究テーマとしています。

「社会福祉関連の道をめざす学生さんにわかりやすいこと、お役に立つこと」を念頭に取り組んでいきたいと思います。

**ひとこと：**この4月から関西福祉大学に勤務しております。これに合わせ、前勤務地である高松市より赤穂へ引っ越して参りました。移ってきた当初から不思議なぐらいすんなりと馴染むことができ、赤穂での生活が気に入っています。

大学での教育はこれまでの短大での教育と異なり、毎日刺激を受けることばかりです。特に1年生から4年生までの学生とのかかわりは、楽しいだけではなく、学ぶところも大いにあります。私の専門は「保育」であるので、働くことなく常にこの「教育の対象から学ぶ姿勢」を保ちたいと思います。そして、実質的には来年度からスタートする保育士養成に力を尽くしていきたいと考えています。

3月	23日(水)～31日(木)	卒業式
24日(木)～3月28日(月)	春季休暇	
29日(火)～31日(木)	2005年度前期オリエンテーション	
23日(水)～24日(木)	追試験	
14日(月)～19日(土)	集中講義期間	
2日(水)～12日(土)	後期定期試験	
1日(火)	後期授業終了	
6日(木)	授業再開	

1月	6日(木)	授業再開
14日(火)	赤穂義士祭	
22日(水)	冬期休暇前授業終了	
23日(木)～25日(土)	集中講義期間	
26日(日)～1月5日(水)	冬期休暇	
1日(金)～24日(日)	後期授業開始	
23日(土)～24日(日)	大学祭	
29日(水)～30日(木)	追試験	
10月	後期オリエンテーション	



当日は、日ごろの活動が見事に実を結び、収容数10000人のホールに立ち見客が出るほどでした。部員たちは予想以上の大喝采に、思わず感涙。「毎年行なつていけるように頑張ります」と今後の意気込みを語ってくれました。

本学吹奏楽部は、誰もが楽しめる演奏“モットー”に、地域の催し物に積極的に参加しています。地域の方々の支えもあります。最近では様々な催し物にいっぱいどこで、嬉しい悲鳴をあげています。

その吹奏楽部が、OBの卒業生たちと合同で、2月22日（日）赤穂市文化会館（ハーモニーホール）大ホールにおいて、昨年に続き第2回目となる定期コンサート『しおかぜコンサート』を開催しました。

コンサートは2部で構成され、演奏曲目について第1部は「ソウルシンフォニー」「マーチ・ベストフレンド」「演歌メドレー」等幻想的な雰囲気で行なわれました。また、第2部については「ワインはいつもワイン」「あの日聞いた歌～故郷、砂浜の歌、椰子の実、赤とんぼ、春の小川、花～」「ヒットパレード」等、大人から子どもまで楽しむことができる、明るい雰囲気で大盛況でした。

## 第2回 吹奏楽部 しおかぜコンサート

**中東 純子／4年**  
(広島県 広島皆実高等学校出身)



No.99

友達の中東さんは?  
“面白おかしい  
飲み友達です!!”

**藤井 智／3年**  
(大阪府 東住吉高等学校出身)



No.98

友達の藤井さんは?  
“顔は優しいのに  
ツッコミはめちゃくちゃ  
的確な藤井ちゃんです”

**堂脇千香子／4年**  
(兵庫県 鈴蘭台高等学校出身)



No.97

友達の堂脇さんは?  
“気付いたら何か食べてる  
おちゃめなチーボーさん”

**津田 智弘／3年**  
(兵庫県 相生高等学校出身)



No.96

友達の津田さんは?  
“ガキの顔とお兄ちゃんの顔、  
2つの顔を持つていて、  
誰よりも尊敬できる  
やんちゃやオヤジ”

**福田 美佳／2年**  
(兵庫県 福崎高等学校出身)



No.95

友達の福田さんは?  
“顔と一緒に性格も  
ワイルド”

**うちの学生こんな学生!?**

## 関西福祉大学と赤穂市 「インターインシップ制度」実施

自分の将来を見据えて…

開学8年目を迎えた本学は、赤穂市との更なる連携・

協力の形として「インターインシップ制度」を導入、実施しました。

インターインシップとは、「学生が在学中に企

業などで一定期間自らの専攻、将来希望する職業に関連した就業体験を行う教育制度」を意味します。

学生は営業や事務など、一般的のアルバイトとは違ったオフィスワークを体験することで、自分の将来を見つめる事ができ、受け入れ側にとつては、優秀な人材を発掘し採用に繋げる手段となります。

今回は5名の学生が、3月1日（月）～5日（金）の5日間、赤穂市役所の各部署にそれぞれ配置されインターインシップを体験しました。参加したどの学生からも「市政を学ぶ良い機会になった」という感想が聞こえ、市政に対する理解、仕事に対する意識を高めた学生はこれからも学業、就職活動を行う上で重要な何かを得たようです。

全国的にみても、インターインシップに興味を持つ学生、インターインシップを導入する大学や企業等は共に年々増加しています。大学として、学生の学びの意欲を応援し、今後は他企業とも連携を深め、インターインシップ制度を充実していきたいと考えています。



# 姫友戦 開催!!

6月19日(土)・20日(日)に姫友戦が行なわれました。姫友戦は、西播磨地区4大学によるスポーツ大会で、今年で第11回目となります。関西福祉大学、兵庫県立大学、姫路獨協大学、近畿福祉大学の体育クラブがお互いの技術と士気を高め、かつ親睦を深めていくことを目的としています。

今年は近畿福祉大学が中心となり、企画・運営を進めていきました。本学でも、課外活動委員会を中心に参加し、姫友戦を大成功へと導きました。

今年のキャッチフレーズは

## ♪空を焦がせ四天王魂で!!♪

天侯はあまり思わしくありませんでしたが、各部・サークルとも力いっぱいプレーしていました。

総合結果は、残念ながら第4位となりました。この結果を踏まえ、各部・サークルとも今以上に練習を重ね、次の大会では今年の雪辱を果たしてくれるでしょう。



### 【結果】

種目	順位
弓道	第2位
剣道	第2位
硬式テニス(男子)	第4位
硬式テニス(女子)	第2位
サッカー	第2位
ソフトボール	第2位
軟式野球	第3位
バスケットボール(男子)	第4位
バスケットボール(女子)	第3位
バドミントン	第3位
バレーボール(男子)	第4位
バレーボール(女子)	第4位
フットサル	第3位

## 時代の一ーストに応えて… 児童福祉コース (保育士養成課程)設置!!

【1人の女性が出産する子どもの数「出生率」が過去最低を更新】



2004年度学友会会长  
橋本篤/2年  
滋賀県長浜高等学校出身

今年度は昨年の反省をいか

し、何事にも余裕をもつて行動したいと考えています。

目標は、今までの学友会の活動を振り返り、もう一度学友会の役割について考え、これから学友会の土台となる

ものをまとめ上げていきたいということです。また、本学学生の代表として、みんなの意見を聞き、少しでも学びやすく、思い出に残る4年間になるよう努力していきたいと思っています。今年度の学友会新

役員は、その目標のもとで一致団結しています。そのことが機関内の信頼関係を強め、学友会運営を成功に導く大切な要素になると思っています。

学友会新役員一同、一丸となつてがんばっていきますので、よろしくお願い致します。



▲前列右から  
会計長 井浦 純平  
長野県須坂高等学校出身  
亀井 陽介  
兵庫県赤穂高等学校出身  
橋本 篤  
滋賀県長浜高等学校出身  
松末 浩明  
兵庫県社高等学校出身  
阿部 光良  
兵庫県赤穂高等学校出身  
書記長  
書記補佐  
副会長

▲後列右から  
涉外補佐 岡田 八映  
愛媛県松山西高等学校出身  
小田切友美  
大阪府宣真高等学校出身  
柴田 恵  
福岡県九州国際大学付属高等学校出身  
丸本 祐華  
岡山県西大寺高等学校出身  
黒川 理恵  
岡山県岡山学芸館高等学校出身  
齋藤 寛子  
岡山県笠岡高等学校出身  
副会長

これまで、少子化問題は、年を追うごとに深刻な状況になっています。少子化的背景にはさまざまな問題があると考えられます。子どもを安心して生み育てることができる環境・条件が整備されていないことも大きな要因であると言えます。今、保育の現場で発達診断や育児相談など、子育て支援のできる専門的知識を備えた保育士が求められています。そのような時代のニーズに答えるため、本学では、今年度より「保育士養成課程」を設けました。福祉系大学の特色を生かし、「保育」と「福祉」と「心理」の3領域を核に、社会福祉士国家試験受験資格と保育士資格の取得が可能な教育プログラムを編成しています。(平成16年度入学生より履修可能)

来年度からの本格的な専門授業開始に向け、設備、施設も着々と整っています。写真は、「ピアノ室」。厚生棟2階に整備され、24ある部屋は普段は自由開放し、保育士資格取得を目指す学生に限らず、1台ずつピアノが設置されています。ピアノ室は普段は自由開放し、保育士資格取得を目指す学生に限らず、





## Information

*Open Campus 2004*

# オープンキャンパス2004

見て、聞いて、感じて関西福祉大学を体験するオープンキャンパス オープンキャンパスで進路を考えよう。

7/24

Sat

8/28

Sat

10:00～16:00  
(進学相談会 9:00～)

ミニ講演、心理測定教室、ミニ福祉体験  
学内見学ツアー、学生交流コーナー  
進学相談会 等

10/23

Sat

10/24

Sun

10:00～16:00

進学相談会（大学祭と同時開催）

※事前の申込は不要です。自由にご参加ください。

●お問い合わせは 関西福祉大学 広報課

Phone.0791-46-2525 (代) Fax.0791-46-2526 E-mail/kusw-info@kusw.ac.jp